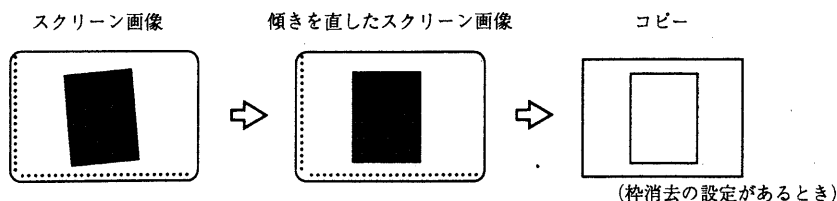
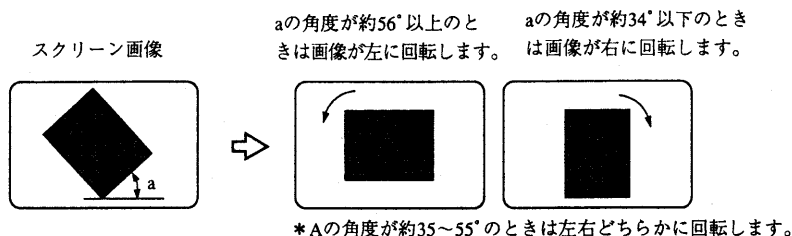


4.6 傾いた画像をまっすぐに直してコピーをとる

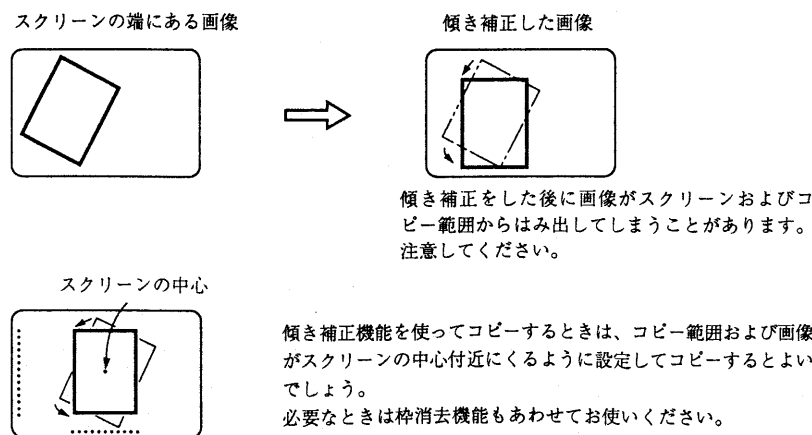
スクリーンに投影された画像の傾きを自動でまっすぐに直してコピーすることができます。これが傾き補正機能です。



■ 傾き補正の動作は

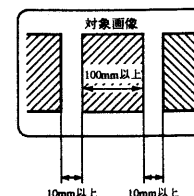


- 傾き補正の動作は、スクリーンの中心を軸としてプリズムユニットを回して行います。このため、スクリーンの端に近い画像は、傾き補正すると元の位置から大きくずれてしまいます。できるだけスクリーンの中心で画像を回転させるように、コピー範囲および画像位置を調整してください。



4.6 傾いた画像をまっすぐに直してコピーをとる

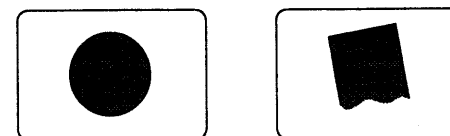
■ 傾き補正できる画像とできない画像



左から検索し、10mm以上のすき間のあとの1つ目の画像（幅100mm以上）を対象に傾き補正します。

- 画像の幅が100mm未満で、すき間が10mm未満のときは、対象となる画像が検出できず、傾き補正機能が正しく働かないことがあります。またつぎのような画像も傾き補正機能が正しく働かないことがあります。

丸い画像（四角のない画像） 下端が直線になっていない画像



ご注意

1. トリミングの範囲を設定するときは、100×100mm以上の範囲を設定してください。
2. マスキングの範囲を設定することもできますが、傾き補正すると画像の位置がずれますので、設定したマスキングの範囲と画像がずれてしまいます。注意してください。
3. 傾き補正と枠消去機能を同時に設定したときは、傾き補正で対象となった画像以外は、消去されてしまいます。注意してください。
4. 傾き補正を設定する前に、プリズムユニットが取り付けられていることを確認してください。傾き補正の設定中は、プリズムユニットを抜かないでください。

アドバイス

傾き補正した画像は、設定したコピー範囲またはトリミング範囲に対して、ずれてしまいます。あらかじめ、コピー範囲またはトリミング範囲を画像の大きさよりも広く設定し、枠消去機能を同時に設定して、不要な部分を消してください。

4.6 傾いた画像をまっすぐに直してコピーをとる

傾き補正機能を設定してコピーしてみましょう。		
操 作	キ ー	表示パネル
1 拡張機能キーを押して、「傾き補正」ランプを点灯させます。	拡張機能 ☐ 枠消去 ☒ 傾き補正 ... 	前回設定した番号が点滅します。 カタムキホセイ 1. スル 2. シナイ
2 数字キーの「1」を押して、「1. スル」を選びます。	7 8 9 4 5 6 2 3 0	カタムキホセイ 1. スル 2. シナイ
3 設定キーを押します。 傾き補正のモードから、「コピーマイスウ」の表示に戻ります。	設定	トレイ 1 A3 コピーマイスウ 1
4 コピーキーを押します。 傾いた画像がまっすぐに直されてコピーされます。		

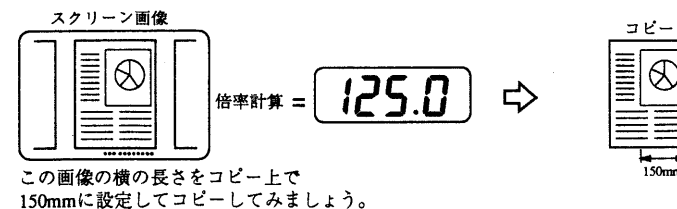
4.7 自動的に倍率計算してコピーをとる

画像の長さと、コピーの用紙上の長さを指定することで自動的に拡大／縮小の電子ズーム倍率を計算してコピーをとることができます。

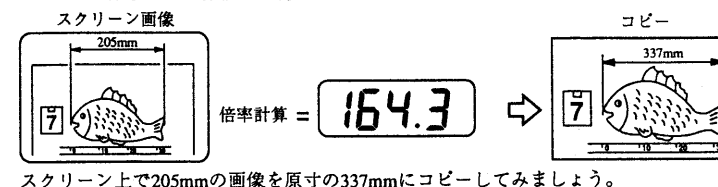
これにより、いままでのように、計算機を使って倍率を計算する必要がありません。

次の3種類の方法で倍率を計算することができます。

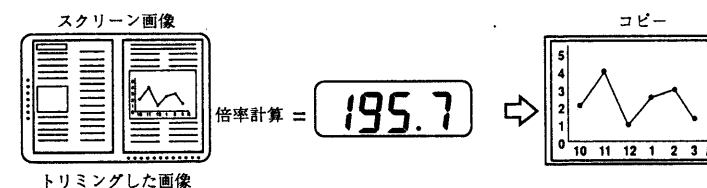
1. 長さ指定： コピー範囲表示ランプを点灯させた長さを、数字キーで入力した長さにするとき



2. 数値指定： 目的の画像の長さをスクリーン上または100%コピー上で測定し、コピーする長さとともに数字キーで数値を入力するとき



3. フルフレーム： トリミングした画像を用紙サイズいっぱいにコピーするとき。



ご注意

電子ズーム倍率が100%のときでもスクリーンに投影された画像とコピー上の画像とは、わずかに寸法の違いがでることがあります。
コピー画像の寸法精度は、本体の光学機械精度、レンズの歪、コピー用紙の伸縮等の影響により、少しの誤差が生じることがあります。

アドバイス

倍率計算された電子ズーム倍率は、小数以下2桁目を切り捨てた倍率になります。